



「キツネ踊り」を披露する子どもたち=14日、姫島村、撮影・江藤成吾



4年ぶり 子ギツネの 姫島

キツネ踊りで有名な「姫島の盆踊り」(国選無形民俗文化財)が14日夜、姫島村内の各地で開かれた。新型コロナウイルス禍の中止を経て4年ぶりの開催。鎌倉時代から伝わるユーモラスな踊りを見ようと、県内外から大勢の人が訪れた。

会場はメインの姫島港フェリー1広場と村内各所の「盆坪」。各地区の踊り手が会場を巡り、キツネ踊りやアヤ踊り、銭太鼓、猿丸大夫など約15の踊りを披露した。念仏踊りから派生したとされる伝統踊りの他に、振り付けや衣装に趣向を凝らした創作踊りもあり、見物客らは思い思いに夏の夜を満喫した。

キツネ踊りはおしろいを塗った真っ白い化粧が特徴。北浦地区の「子ギツネ」たちがちょうちんを下げた傘を持ちながら「オラサ、オラサ」の掛け声で登場すると、観客から大きな拍手が湧き起こった。

盆踊りは16日まで続くが、フェリー広場会場は15日まで。

(佐藤英司)

〔問①〕「姫島の盆踊り」は何時代から伝わり、いくつの踊りがあるでしょうか。

(鎌倉) 時代から伝わる (約 15) の踊り

※数字を入れましょう

〔問②〕記事を読んで見出し(タイトル)の□にふさわしい言葉を考えて入れてみましょう。

(4年ぶり 子ギツネの (例) 舞)

〔問③〕あなたの地区のお盆にはどのような行事や風習がありますか。

※自由記述